令和７年度
滋賀県文化賞等受賞者

滋 賀 県 文 化 賞

芸術文化（音　　楽）　久　末　　航

滋賀県文化功労賞

郷土文化（文 化 財）　坂　田　　さとこ

郷土文化（伝統芸能）　豊　澤　　千　穂

滋賀県文化奨励賞

芸術文化（美　　術）　馬　場　　晋　作

文　　化　　賞

写真：C/Janine Guldener

久末（ひさすえ）　航（わたる）

芸術文化（音楽）
平成６年生　ベルリン在住

2025年エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第２位受賞。第66回ミュンヘン国際音楽コンクール第３位および委嘱作品特別賞。第７回リヨン国際ピアノコンクール第１位および聴衆賞。2009年度青山音楽賞新人賞、2019年度青山音楽賞バロックザール賞、2024年度青山音楽賞青山賞。これまでドイツ、フランス、スペイン、フィンランド、ベルギー、オランダ、スイス、韓国など国内外で演奏活動を展開、バイエルン放送交響楽団、アントワープ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、東京都交響楽団などと共演。ミハイル・プレトニョフ、マルク・アルブレヒト、大野和士といった著名な指揮者と共演。CD「ザ・リサイタル」をリリースし「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積む。これまで村上久仁子、田隅靖子、G.ミショリ、E.シュトロッセ、P.ドヴァイヨン、K.ヘルヴィヒ各氏に師事。

文 化 功 労 賞

坂（さか） 田（た） さとこ

郷土文化（文化財）
昭和35年生　大津市在住

京都市の㈱岡墨光堂で装潢分野の技術を学んだ後、平成元年に坂田雅之と共に独立。平成26年に㈱坂田墨珠堂の代表取締役に就任。大津市小野に工房を構え、令和６年度までに国宝６件・重要文化財46件・滋賀県指定有形文化財14件を含む、数多くの美術工芸品の保存修理に携わってきた。

創業以来、県内外の博物館・美術館が収蔵する文化財の修理にも数多く取り組み、公開活用を支えたことで多くの県民・国民に鑑賞機会を提供してきたほか、各種講演会の講師としても活躍し、文化財修理の活動を通じて県民文化の向上に大きく貢献。

豊（とよ） 澤（ざわ） 千（ち） 穂（ほ）

郷土文化（伝統芸能）
昭和25年生　長浜市在住

平成２年から浄瑠璃、三味線を習い始め平成12年から冨田人形共遊団に加入する。

年間30回程度、公演の舞台で三味線の演奏を担当するほか、地元小学校への出前教室や、冨田人形サマープログラムの参加学生に対する浄瑠璃、三味線の指導を２か月間行っている。

また、新人養成の稽古にも携わり、技量の研鑽を求める方に熱心に指導をしている。普段の練習では、三味線の演奏のみに限らず、浄瑠璃の語りや人情の機微等について納得いくまで太夫連と話し合いながら指導を行い、演目のコーディネーター役を果たす重要な役割として冨田人形の活動を支え、活動の推進、後継者育成活動にも尽力している。

文 化 奨 励 賞

馬 場 晋 作（ばば しんさく）

芸術文化（美術）

昭和53年生　大津市在住

成安造形大学芸術学部芸術学科美術領域 専任教育職員教授。様々なメディアを用いながら、絵画を構造や方法論によって再解釈し、イメージを立ち上げる。

びわ湖毎日マラソン記念モニュメント、令和５年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業「Art Rhizome KYOTO」、「2023 AT ARTS EXHIBITION 浄厳院現代美術展」など滋賀県を中心に作品を発表。滋賀県立美術館40周年記念アーカイヴ展示「これまで⇄これから美術館」の企画・展示構成、堅田浜通り商店街を活用した地域交流事業「堅田＊はまさんぽ」の企画・監修サポートを行うなど、作品制作だけでなく展覧会企画、プロジェクト運営、フィールドワークなど幅広い分野で文化活動に従事、優れた実績を上げている。令和４年より滋賀県立美術館協議会委員。

これまでの功績と、今後の活動において、さらなる活躍が期待される。